



東京・六本木のアクシスギャラリーで、10月30日から11月1日に開催された受賞作品の展示会。その後、大阪、名古屋、福岡でも巡回展示された。主催は、6つの業界団体が組織する実行委員会

PVC Design Award 2013

塩ビの新たな可能性を示す

大賞



今回で3回目となるデザインコンペ「PVC Design Award 2013」の審査結果が2013年10月28日に発表され、草深仁志氏（マインドクリエイティブジャパン）の「AIRQUIN」と石田麻紀氏（ジャパン・プラス）の「DECO BAG」が大賞に選ばれた。PVC Design Awardは、柔軟性があり加工性、透明性、印刷性に優れた軟質塩化ビニール樹脂（ソフトPVC）の特徴を生かしたデザイン提案と製品を公募し、その中から素材の可能性を広げるような魅力あるものを選定・表彰して、業界の活性化と発展を図るのが目的だ。5月7日から10月1日までの応募期間に、前年を76点上回る220点のデザイン提案と、同じく前年を9点上回る107点の製品が寄せられ、大賞2点、優秀賞2点、入賞11点、佳作5点が選ばれた。

大賞の「AIRQUIN」は空気で膨らませるマネキン。従来のマネキンは大きくて重いため、設置するのに労力が必要で、使わないときも場所を取る。軽くて、使わないときには空気を抜いて畳んでおけるAIRQUINは、そうした問題を解決するマネキンだ。天井から吊るすなど空間を生かした展示も可能になる。

「アパレルのプロにも使ってもらえる

- 1 ソフトPVC製のマネキン「AIRQUIN」草深仁志（マインドクリエイティブジャパン）
- 2 AIRQUINのバスト。女性の胸の自然な曲面を表現した
- 3 緩衝機能付きショッピングバッグ「DECO BAG」石田麻紀（ジャパン・プラス）
- 4 ソフトPVCの柔らかさをクッション性に生かしている

NIKKEI DESIGN

Design Active

特集

素材が拓く新たなユーザー体験 user experience

12
2013

よう、おもちゃっぽくならないように苦心した」と受賞者の草深氏は言う。例えば、バストの膨らみ。通常はこうした突起の部分は稜線のライン1本で接合するが、それをあえて2本に分けた。1本だと不自然な出っ張りやしわが出てしまうからだ。審査委員長の太田美知子・共立女子大学家政学部教授は、「しっとりとした質感があり、人間らしい形にこだわった完成度の高い商品。既存の技術を複合的に使用した加工・成形技術とその表現で、日本のソフトPVC加工技術や製品の質の高さを示している点が、大賞に値する」と評価した。

